

2025年度 院内教育計画 （看護実務領域 No2）

領域	コース	対象	目的	目標	方法	時間
看護実務における教育	看護過程	レベルⅠ	1. 看護記録の基礎知識を理解する	①看護過程について理解し、看護記録が書けることができる。	講義	60分
			1. 退院支援に必要な基礎知識が理解できる	①入退院支援について理解ができる	講義	60分
				①退院支援に必要な情報収集、意思決定支援について理解できる ②退院支援に必要な療養指導、自立支援、社会資源について理解できる	講義	120分
			1. 看護を振り返り、今後の課題を見出すことができる	①事例を通して看護過程の展開ができる	症例発表	60分
	人間関係	1. 自己啓発	①新人同士で、自分の思いや考えを説明できる	GW	120分	
			①お互いの現状を共有することができる ②新人同士で自分の思いや考えを説明できる		70分	
			①グループワークを通してお互いの現状を共有する ②今後の学習・現場での課題を見出す		50分	
	コミュニケーション	レベルⅡ	1. 組織の一員として責任ある行動ができる 2. 看護職としての倫理的態度を身につける	①自分を知ると共にアサーティブコミュニケーション技術を習得する ②パートナーシップマインドについて理解する ③看護者の倫理観を理解する ④実践の場で看護倫理を考え、行動することができる	講義・GW	150分
				講義・GW	150分	
				GW	120分	
				発表	60分	
	スキントピア （身体療育安全）	レベルⅡ以上	1. スキンテアの対応と予防について知識を深めることができる 2. 患者の皮膚の状態に応じた予防ケアや処理を習得できる	①スキンテア予防のためのケアができる ②スキンテア発生時の処置対応が実施できる	講義 演習	90分
			1. 認知症について理解を深める 2. 身体拘束についての知識を深めることができる	①認知症について理解を深める ②身体拘束についての知識を学び、臨床現場での身体拘束の軽減に努める	講義 演習	60分
			1. がん疼痛・医療用麻薬についての知識を深め、適切な疼痛管理が出来る	①癌疼痛の種類・特徴が理解出来る 鎮痛剤・医療用麻薬の種類・特徴について理解が出来、患者にあった薬剤・量が投与されているかアセスメント出来る	講義 演習	60分
	救急蘇生	全員	1. 突然の心肺停止に対する最初の10分間の適切なチーム蘇生が出来る	①蘇生を始める必要性を判断でき、行動に移すことができる ②BLSを行うことができ、AEDを安全に操作できる	演習	看護師 各30分程度 看護助手 各60分
	看護助手	看護助手	1. 介護職員の質の向上 2. 誠意を持って介護にあたる看護補助者を育成する	①看護部組織を理解する ②組織人としてのコミュニケーションを学び、実践に活かすことができる ③蘇生術を学び知識を習得できる ④看護補助業務における医療安全を理解する ⑤看護補助業務における感染対策を理解する	講義 オンデマンド 聴講 演習 GW	60分